

工学研究科・工学部 意見・要望投稿用紙 ⑪

投稿日 平成27年 7月 10日

【タイトル】 身障者用トイレの名称変更	
【意見・要望】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学内にある「身障者用トイレ」を「だれでもトイレ」に名称変更して欲しい。 ・今の様では内部障害のある方や性別違和で戸籍性別のトイレに入りたくない人、入ると怪しまれる人が利用しにくいと思われる。 ・LGBTs支援してます風に変換でもよろしいでしょうか。 ・副作用として健常者も緊急避難的に使うのも仕方ないと考える。 <p>※少なくとも工学研究科講義棟(?) 1F男子トイレの隣に身障者用の表記を確認</p>	
【改善に向けた具体的提案】	
<ul style="list-style-type: none"> ・「身障者用トイレ」を「だれでもトイレ」に変更 ・表記変更とアイコンを車椅子以外(車椅子だけ、ではかもの)に変更 ・可能であれば東北大学全キャンパスにおいても改善して欲しい。 <p>・最善策は新設 or 既存設備の一部を「男女兼用トイレ」に整備することだが早急には無理だと思われるため次点案を記しています。</p>	
投稿内容公開の可否 該当口にチェック	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否

【担当部署からの回答】

ご要望いただいた件につきまして回答いたします。

「身障者用トイレ」と既存表記されているものを「だれでもトイレ」に名称変更を要望することですが、大学規模を勘案すると、全キャンパスの全建物のトイレ表記を一斉に変更することは難しいのが現状です。今後の整備課題として対応できるよう検討していきたいと考えております。

表示を車椅子マーク以外のものに変更を要望することですが、この車椅子マークは国際リハビリテーション協会が世界共通の国際シンボルマークとして定めているものです。

障がいを持っている方が施設利用しやすいよう、段差解消や入口の扉の広さの確保、手摺りの設置や車イスを回転させるスペースが十分とられていることを世界共通のマークにより明確に判断できるようにしています。

大学では上記のバリアフリー対応のみではなく、すべての人が利用できるユニバーサルデザインとして車椅子マークのトイレを整備しています。

不特定多数が利用する施設として混乱や支障が生じないように、世界共通のマークを今後も使用していくことになるかと思えます。本件に関しまして、ご理解、ご了承いただきますよう、お願いいたします。